



森づくりサポーターニュース

平成26年(2014) 9月15日発行

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

協働の森づくり(育樹活動)が進行中

県営都市公園「びわこ地球市民の森づくり」の大切なことは、国の『住民参加による「平成の森づくり事業」』の採択を受けて、市民(県民、企業等)と行政(県)との協働(パートナーシップ)で取り組んでいることです。2001年の植樹開始以来、2013年には植樹活動を終え、育樹段階へと進みつつあります。

植樹では、市民が苗木を用意し、県は植樹地や公園施設を整え、4万6千人が参加して、16万本余を植え終わりました。世代を越えて、“都市部に身近な自然を残す”という目標の第一段階が達成されたといえます。

これから20年間ほどは、森づくりの次の段階、育樹活動が主体となります。育樹は、苗木の生長に応じて、除草、枝落とし、間伐等が必要とされ、健全な森(里山)を育てていくための大切な作業です。林内に入って、手間や時間のかかる作業でもありますが、木々の生長を目にして、森づくりへの手ごたえがより実感できる活動です。

今、森づくり活動に参加している「森づくりサポーターさん(登録者)」は301人と8団体。また、随時に、植樹や育樹活動に取り組んでいる県内外の企業等も多数にのぼります。引き続き、多くの市民の方々に、「びわこ地球市民の森づくり」に参加をお願いします。

そして、地域での自然再生への活動から、さらに、私たちの大きな課題、地球規模の環境問題に向けての取り組みが広がっていくことが望めます。



森づくりサポーターの枝落とし作業



企業の除草作業



第1回森づくりサポーター活動

2014年7月19日（土）第1回森づくりサポーター活動が「里の森ゾーン」で開催されました。当日は、梅雨明け間近い蒸し暑い日でしたが、森づくりサポーターなど93人とガールスカウト26人の合計119人という多くの参加者がありました。

大人は、現場（写真1）で二班に分かれ、作業をしました。一班は2009年植栽地の一部でセンダンだけが大きく生長して日陰をつくり、他の植栽木の生長を阻害しているため、二股、三股に分かれた100本のセンダンの枝落としをし、また、もう一班は、3mほどに育ったセンダン以外の植栽木300本（写真2）の枝落としをしました。

参加者のがんばりで、森がとてもすっきりし、森のなかに光が差し込み風が通るようになりました。これで、植栽木全体が生長してくれると思います。

ガールスカウトの皆さんは、森で「カモフラージュ」などのネイチャーゲーム（写真3）を楽しんだ後、森の間伐木などを利用したクラフト（ドングリ・ガール）づくり（写真4）をしました。

その後、甘いスイカをいただき、子供達は、恒例のスイカ割りを楽しみました。

暑いなかのご参加ありがとうございました。



写真1 作業現場



写真2 枝落とし作業



写真3 ネイチャーゲーム



写真4 クラフト（ドングリ・ガール）づくり

樹木の生長状態と樹林密度調査について（その2）

樹木の生長状態と樹林密度調査について、今回でまとめます。（調査日：平成25年10月時点）

測点数	ゾーン区域	樹齢段階（年）		樹林密度	枝重なり程度	樹冠植被率	最大樹高m	幹直径cm
		植付時	2	200	1	1	0.8	1.0
5	S	D	4.5	83	1.5	2.0	2.10	1.9
18	S + D	C	7.25	85	2.6	4.1	5.00	7.4
16	T + F	B	10.25	53	2.5	4.0	6.62	9.8
21	T + F	A	13.25	47	2.2	3.9	8.36	12.2

- ・ゾーン区域のT、F、S、Dは、それぞれ、つどい、ふれあい、里の森、出会いを表す。
- ・樹齢段階（年）は、次の樹齢幅の中間の年を表す。【A：14.5～12年、B：11.5～9年、C：8.5～6年、D：5.5～3.5年】なお、植え付け時の樹齢を、すべての樹種で2年としている。
- ・樹林密度、枝重なり程度（最大3）、樹冠植被率（最大5）、最大樹高、幹直径の数値は、すべて樹齢段階ごとの平均値である。ただし、樹林密度は、植え付け時を200（100㎡当たりの本数）とする。

表1 樹齢段階別平均値

上の表を見てください。測点は4つのゾーンの樹齢3.5～14.5年の場所で、植え付け年度や樹種、生育状況の同じところを1つの固まりとして押さえていった結果、60地点になりました。樹齢段階で見るとA、B（つどい、ふれあい）、C（里の森、出会い）、D（里の森）の順に植樹されています。

森づくりとその後の育樹管理の一番のポイントが樹林密度であり、前号で示した目安曲線、5年：130本/100㎡、10年：75本/100㎡、15年：45本/100㎡が基本になっています。

次に示した図1は、今回実測した60地点の樹齢と樹林密度の関係を表したグラフです。折れ線は樹齢に対する樹林密度の平均の線ですが、概ね、5年：100本/100㎡、10年：65本/100㎡、15年：30本/100㎡と読み取れます。

先の目安曲線の基本と比較すると、全体に実測の方が低い数値になっています。この調査の結果から、今後は全体にやや弱め（抑え気味）の間伐を進めていく必要があります。その上で、平均から著しく離れて数値の高い赤丸の測点は強めの間伐を進めなければなりません。

また、著しく離れて数値の低い緑丸の測点は、植栽後の土壌や気象の悪条件、雑草の繁茂などで枯れたり、間伐、除伐などでやや強めの管理がなされたと思われるので、補植や林内の除草の回数を増やすなどの手立てが必要です。

実際のまとめでは、まず赤丸や緑丸の測点からすぐに対応ができるように、場所の分かる図や状況と対策についてまとめ、その後全体に同じ形でまとめていますので、今年度から資料を基に育樹管理を進めていきたいと思っています。

なお、主に里の森ゾーンに植樹されている「センダン」については、他の樹木と比べて著しく生長が速いため調査対象から除いています。生長が速いうえに枝が横に張る特徴があるので、他の樹木と共存した森を形成するためには、「センダン」をできる限り疎にしていく必要があります。

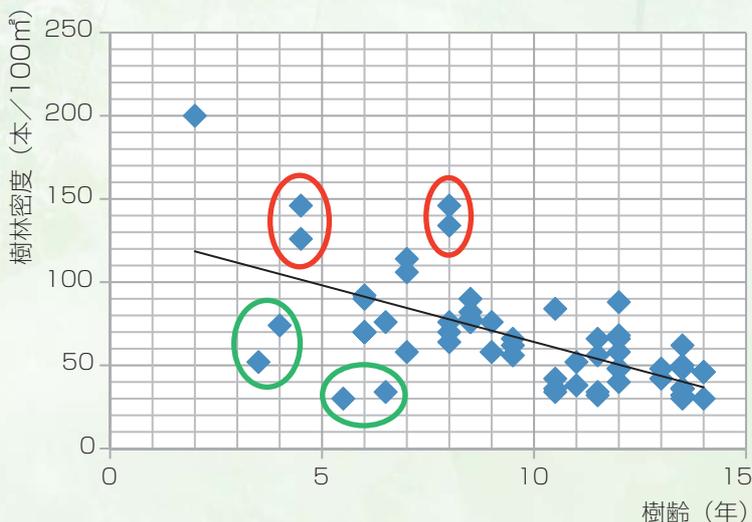


図1 樹齢と樹林密度の分布



今年も 「びわこ地球市民の森・森づくり講座」 を開講中

今年度も、『森を学ぶ』、『森を調べる』そして『森で楽しむ』ことを目的とした「びわこ地球市民の森・森づくり講座」を開講しました。平成26年6月～平成27年3月の間に全10講座を実施し、17名の皆さんが受講されています。

第1回は、講話「森づくりの目的と今日までの経過」と、ネイチャーゲーム「色相撲」などでした。今後も、興味ある森の話や実習が楽しめます。



どちらの色が近いかな？

お知らせ

“新たな森づくり活動団体が誕生”

今年5月に森づくりサポーターの8団体目となる新たな森づくり活動団体「しんゆう（森遊）」が誕生しました。滋賀県レイカディア大学草津校園芸学科35期生を中心に21名の方で構成され、今後、定期的に森づくり活動（ボランティア）が継続される予定です。

写真は、6月に間伐・枝落としをされた時の記念写真の様子です。



編集後記

「2014びわこ地球市民の森のつどい」の実施日が、11月9日(日)と正式に決定しました。林縁に低木と山野草の植樹をしたり、秋らしい出し物などが計画されています。多くの森づくりサポーターのご参加をお待ちしております。

森の植樹状況 2014.3 現在

植 栽 面 積	80,808 ㎡
参 加 者 数	45,994 人
植 栽 本 数	160,967 本
つどいのゾーン	23,666 本
ふれあいゾーン	40,460 本
出会いのゾーン	21,158 本
里の森ゾーン	75,683 本